Japanese Journal of Applied Psychology
1982, No. 7., 61-63

事務局だより

総会

第48回総会は次の要領で行われた。

日時　昭和56年9月26日（土）1時

場所　中京大学（名古屋）

議題

1. 開会　斎藤事務局長
2. 議長選出　鶴田会長を選出
3. 事業報告　斎藤事務局長が報告。会員状況，会の運営，行事等。機関誌発行については，正田常任運営委員が行う。
4. 日本学術会議心理学研究連絡会報告　太田垣副会長
5. 心理学諸学会間連絡会報告　宮本常任運営委員
6. 昭和55年度決算（別項）説明　平野幹事
7. 昭和56年度予算（別項）説明　平野幹事
8. 第47回大会会計報告　太田垣副会長
9. 常任運営委員会の経過報告　斎藤事務局長
10. 名誉会員の推薦　望月　衛，大平勝馬の2名が決定した。
11. 次回開催校　国際商科大学において豊原恒男新会長のもとで開催が決定。
12. その他
    (1) 騒音対策小委員会の発足が認められ，大会期間中に参加者の募集が始められた。（その後の活動は別項）

昭和55年度決算報告

収入			支出		
項目	実行額	予算額	項目	実行額	予算額
前年度繰越	14,588	14,588	47回大会費	300,000	300,000
学会費	2,929,400	2,830,000	シンポジウム費	41,200	50,000
過年度分	(694,400)	(350,000)	印刷費	2,140,100	1,100,000
本年度分	(2,135,000)	(2,450,000)	機関誌	(2,118,600)	(1,000,000)*
次年以降	(100,000)	(30,000)	その他	(21,500)	(100,000)
雑収入	50,657	100,000	通信費	420,970	400,000
			機関誌	(278,940)	(300,000)
			一般	(142,030)	(100,000)
			さいころじすと	38,225	100,000
			連絡会費	12,700	30,000
			運営委員会費	50,800	100,000
			事務局費	249,760	400,000
			アルバイト費	30,000	200,000
			積立金（名簿）	100,000	100,000
			予備費		164,588
			次期繰越金	−399,110	
合計	2,994,645	2,944,588	合計	2,994,645	2,944,588

別途積立金　100,000円（S54年分名簿印刷用）

* 機関誌印刷内訳

3・4合併号　1,106,970円

5号　1,011,630円

昭和56年度予算

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	− 399,110	48回大会費	300,000
学会費	3,385,000	シンポジウム費	50,000
過年度分	900,000	印刷費	1,400,000
3,500×200	= 700,000	機関誌	(1,300,000)
2,000×100	= 200,000	その他	(100,000)
本年度分	2,450,000	通信費	500,000
3,500×700		機関誌	(350,000)
次年以降	35,000	一般	(150,000)
3,500×10		さいころじすと	50,000
雑収入	75,000	連絡会費	30,000
		運営委員会費	100,000
		事務局費	400,000
		アルバイト費	50,000
		積立金（名簿）	100,000
		予備費	80,890
	3,060,890		3,060,890

常任運営委員会（前回報告以降）

昭和56年10月27日（火）18時。出席者：豊原，高嶋，宮本，石毛，奥沢，安倍，中村，長谷川，森，神作，大脇，恩田，結城，斎藤，平野（松尾）

豊原新会長による初回の常任運営委員会のため，今後の運営の基本的事項の協議。連絡会から他の各学会の動向の報告。第49回大会の予定の打合わせを行う。

12月1日（火）18時。出席者：豊原，安倍，森，奥沢，大村，高嶋，正田，高橋，大脇，越河，長谷川，斎藤，平野（松尾）

さいころじすと編集状況報告，機関誌第7号の編集開始の件，名簿作成問題等が取上げられた。

昭和57年1月26日（火）18時。出席者：豊原，森，高嶋，大脇，正田，奥沢，越河，松村，長谷川，中村，結城，太田垣，恩田，西岡，安倍，斎藤，平野（松尾）

第49回大会日程を10月23・24日にすることが固まる。騒音対策委員会の発足趣意書を発表論文送付時にも同封（先に機関誌送付時にも全部に同封した。）

3月9日（火）18時。出席者：森，安倍，中村，高嶋，大村，長谷川，奥沢，松村，大脇，高橋，斎藤，平野（松尾）

第49回大会1号通信発送，春のシンポジウムは性差の問題を取上げる。高嶋委員が担当され，推進する。

4月27日（火）18時。出席者：豊原，高嶋，奥沢，太田垣，越河，高橋，安倍，大脇，石毛，恩田，神作，斎藤，平野（小木曾）

増田幸一，山下俊郎名誉会員死去。シンポジウムは6月12日（土）2時より行うことに決定。第50回大会候補を考える。長谷川委員が金沢へ勤務されたため，当地に交渉中。

6月12日（土）18時。出席者：森，安倍，大村，宮本，高嶋，中村，石毛，永丘，正田，大脇，奥沢，高橋，太田垣，斎藤，平野（小木曾）

シンポジウム開催，内容は本号の記事参照のこと。学会事務局の移転を考慮してほしい申入れをし，日本大学に大村委員から尋ねていただく。運営委員改選のための手続の確認。永丘委員から心理技術者資格問題の取組みの必要の発言。

7月20日（火）18時。出席者：豊原，西岡，越河，石毛，森，中村，大村，高嶋，奥沢，神作，大脇，高橋，太田垣，恩田，斎藤，平野（小木曾）

第49回大会個人発表121件。プログラムを発送。第50回大会を金沢で検討中。日本学術会議改革案についての返答を協議し，心研連担当の太田垣委員と事務局で作成し，30日に送付。

騒音対策委員会の活動（世話人よりの書信）

騒音対策委員会への参加者はすでに10数名に達し，地域もまた，東京，京阪，東海の広い範囲に亘っています。活動はすべて手弁当でやることになっていますので，会合もできるだけ回数を節約し，第1回は秋の大会

の席を利用して行いたいと思います。

ところでその一方，社会における騒音公害は日を追って増大しつつある現状ですから，早速にも手わけして，身近な場所における実状の把握を開始すべきであろうと思います。第１回会合の席にそなえて，例えば次のような点での調べを行っておいて下さい。

(1) 社会生活において公害となっている騒音の種類と音源，ならびに発生の起因など。

(2) 騒音に対する苦情の種類――都や区，ないし県や市町村の苦情統計など入手できるものは入手しておいて下さい。また，当局にまで持ち込まない程度の苦情についても種類や成りゆきを調べておいて下さい。

(3) それに対する当局の対応はどうなっているか。

○現行法規は充分か，またよく運用されているか。

○苦情処理機関は存在しているか，またそれは満足に活動しているか。

(4) 騒音公害に対する我々心理学者としての対策はどうあるべきか。（これは本委員会設置の目標点ですから，よくお考を練っておいて下さい。勿論今後の継続審議の課題です。）

☆　☆　☆

なお私は今夏エヂンバラにおける国際応用心理学会で研究発表のため，７月14日出発し，そのあとヨーロッパ各地で，それぞれの国の騒音事情を調べて廻ります。このため約40日あまり日本を留守にいたします。その間における本委員会の連絡等は，大脇三恵子氏にお引受いただくことになりました。よろしく御諒承下さい。

昭和57年７月

（騒音対策委員会組織準備の臨時世話人）

結　城　錦　一

騒音対策委員会委員　各位

参加者：山岡　淳，家本　修，中島俊明，広島克佳，中原弘之，工藤哲也，岡本善之，児玉　省，西山　啓，高橋哲也，山崎予津子，服部晶之助，清家彰敏，小河亀彦，熊谷波也，大脇三恵子，結城錦一，内山道明，後藤倬男，難波精一郎（順不同）